

武豊町に活かします

行政視察報告

空き家の問題解決にむけて

総務企画委員会

7月3日・4日、神奈川県秦野市と静岡県焼津市を視察し、公共施設白書と空き家の適正管理に関する条例について研修しました。秦野市では少子高齢化に伴う財政状況の変化より、公共施設が維持できなくなることから公共施設白書を作成し、施設配置の見直しを住民に説明してまいります。

分を含む条例を制定し、空き家対策を推進している現状を学びました。

研修後、施設白書の作成および空き家条例の制定を含め空き家対策を推進するよう町長に提言しました。

視察先からは武豊町の現状を指摘され、今後の施設管理の問題点を学びました。

また、焼津市では、管理がされず老朽化した空き家が増えたため、氏名の公表・代執行などの行政処



■秦野市での研修

慎重な審議が必要な民営化

文教厚生委員会

10月21日・22日、静岡県島田市と菊川市を視察しました。

島田市では、公立保育園の民営化をテーマに視察。

平成20年度に「市立保育園民営化計画」を策定して段階的に順次民営化を進めてきました。

民営化に当たっては、保護者から保育の質の低下や保育料、経営破綻の対応など不安の声が多く出され、相当期間の話し合いが必要とされました。

菊川市では、学校教育へのICT導入について研修しました。

菊川市ではモニター、パソコン、タブレットを導入し、教職員全員がタブレットを持ち、児童もタブレットを使って授業が進められていました。児童は、授業内容に興味を持ち、理解が深まって好評でした。

武豊町でも、今後、ICT教育の導入が期待されます。

建設中の交流施設の参考に

産業建設委員会

11月19日・20日と名張市の名張交流館「とれなば」、伊賀の里モクモク手づくりファーム、舞鶴市「舞鶴ふるるファーム」を視察し、交流施設の運営について研修を行いました。

「とれなば」では、まちの駅の認定を受け、34坪と小規模な店舗ながら、月800万円の売り上げがあり

ました。「モクモク手づくりファーム」は、設立から20年をかけて色々な体験教室を展開しながら無添加食品に賛同する会員を得て、その後10年でレストラン事業が成長し、年商54億円に事業が拡大をしています。

「舞鶴ふるるファーム」は、モクモクから指導を受け、レストランでこだわり



■舞鶴ふるるファーム



■島田市での研修

の日本食を展開し多くのリピーターを得て年商1・5億円を達成しています。

地域に喜ばれ、地域と共存できる施設とは何か大変参考になりました。